



2021年12月 日

桜井谷小学校

4年図工通信 第7号

発行者：

はじめての彫刻刀

子どもたちが楽しみにしていた彫刻刀を使った木版画作り。個人懇談の時にも見ていただいた通り、テーマは「自分の靴」です。まずは、木の板に靴をよ〜く見てスケッチしていきます。自分の好きなように、靴をセッティングして描き始めます。ダイナミックに、だけどミシン目などの細かい部分までしっかり観察して素敵な靴を描くことができました。靴が重なっていて見えない部分や、靴紐の重なりなど難しい部分もありましたが、普段こんなに靴を眺めることはないのではないのかというくらい観察していたので、板に鉛筆の線で描かれた靴だけでも見ごたえのあるものとなりました。

彫刻刀の使い方を確認したら、いざ入刀！鉛筆で描いた線をなぞるように彫っていきます。イメージは、アイスクリームをすくう感じ。彫刻刀を寝かせて、優しく鉛筆の線を浮かせていきます。刃がスムーズに進む感覚を掴めてくると、すいすいと彫り進めていくことができます。「持ち方」「角度」「速さ」と、沢山気を配らないといけないことがあります。早いうちにコツを掴む姿に感心しました。今回の目標は、第一に「安全」です。刃の進む向きに合わせて板の向きを変えないといけないと頭では分かっているけど、夢中になるとカーブの部分で板を抑えている指に向かって刃を向けていたり、刃の進む向きに指が飛び出していたり、

ひやひやする場面もありました。残念ながらケガをしてしまった人もいましたが、大きなケガをすることなく学習を終えることができー安心です。靴を彫り終わると、「たたみ」タイムが待っています。靴だけにインクがつくように靴の周りを全て彫っていく作業のことです。畳の目のように、数段ごとに彫り進めて靴を浮かび上がらせます。とってもとっても大変ですが、靴を彫っていた時に使っていた三角刀とは違い、彫り心地の良い丸刀や小丸刀を使うので、子どもたちは「気持ちいい〜！！」と楽しみながら取り組んでいました。彫刻刀を力強く握りすぎて指や手が痛くてたまらない子もいましたが、苦勞しつつも無事に彫る作業を終えいざ刷るタイム！黒色のインクをつけてローラーを転がします。バレンでしっかり擦った後には、刷り上がった美しい作品とのご対面。「赤」「青」「緑」「黄」の中から好きな色を選んで台紙にしました。子どもたち同士で、教え合いながら楽しく作品作りをする姿が見られてとても嬉しかったです。

子どもたちにも話しましたが、版画の板はハンコと同じく繰り返し使って作品を何度も生み出すことができる素敵な作品です。家で版画をする機会はないと思いますが、刷り上がった作品だけではなく彫った版の方もぜひ見ていただきたいです。

2学期最後の作品は、「アドベントカレンダー」。クリスマスの過ごし方は、国や家庭、信仰している宗教によって違うことを話すと驚いていました。クレパスを使ったスクラッチという技法で、色鮮やかなカレンダーが完成しかけています。持ち帰るのを楽しみにしててくださいね。
